

令和5年度 教科年間計画

教科	生涯スポーツ	2年	使用	【教科書】 なし
科目	体育	2単位	教材	【副教材】 ステップアップ高校スポーツ

科目の目標

- ①運動を合理的、計画的に実践しながら知識や技能を高め、自分の状況に応じて体力の向上を図る。
- ②健康・安全に留意しながら、公正・協力・責任・参画など集団へのかかわり方を学ぶ。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむと共に健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

月	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
4 5 6 7	オリエンテーション 陸上競技・卓球	1 22	○ ○	○ ○	○ ○	(ア) ランニング・体操・ストレッチの効果を実感し、意欲的に取り組んでいる (イ) 体力を高める運動について理解し、自分の課題を見つけながら、運動に取り組んでいる。 (ウ) 生涯にわたるスポーツライフの実現に向け、仲間と協力しながら、課題に取り組んでいる。	
8 9 10	陸上競技・卓球 体力を高める運動	12 8	○ ○	○ ○	○ ○	(ア) ウエイトトレーニングの実践法について理解し、課題を見つけることができる (イ) 自己の体力に合わせて取り組むことができる。	
11 12 1 2 3	キンボール バドミントン バレーボール ユニホック	27	○ ○	○ ○	○ ○	(ア) ニューススポーツの楽しさや喜びを味わいながら課題に取り組むことができる。 (イ) 準備や後片付けなど自分の責任を果たそうと努力している。 (ウ) ゲームを展開するための技能が身についている。	
	時数合計	70					

令和5年度 教科年間計画

教科	芸術	2年	使用	【教科書】 Tutti+ 音楽Ⅱ
科目	音楽Ⅱ	2単位	教材	【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めることができる。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができるか。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度が養われている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
クラスの歌 声を響かせ よう	【歌唱】 ○校歌 ○Pretender ○Tomorrow ○島唄 など ◆Review of Basics ①音の名前 ◆声という大切な楽 器 ◆Review of Basics ②音楽の速さを表そ う	3	○	○	○	・様々な表現形態による歌唱表現の固有 性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするた めに必要な、他者との調和を意識して歌う 技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、旋律、テクスチュアを知 覚し、それらの働きを感受したこととの関 わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を している。(思) ・校歌やなじみのある J-POP の歌を、歌 詞の内容やの二重唱や二部合唱、自分にと っての音楽の存在を再認識することや音 楽を幅広く様々な視点から捉えようとす ることに関心を持ち、音楽活動を楽しみ ながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取 り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取
日本歌曲を 歌おう	【歌唱】 四季の歌 ○さくらさくら ○我は海の子 ○里の秋 ○たき火 ◆音のスケッチ①音 楽の要素を探ろう ◆作曲者年表 ◆楽典(強弱、速度、 発想記号)	2	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及 びその関わりによって生み出される表現 上の効果について理解している。(知) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするた めに必要な曲にふさわしい発声、身体 の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表 している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成 を知覚し、それらの働きを感受しながら、 知覚したことと感受したこととの関わり について考え、個性豊かに歌唱表現を創意 工夫している。(思) ・日本語の抑揚や間、語感、歌詞が旋律の 流れやフレーズにどのように表され、曲想 を生み出しているかに関心を持ち、主体 的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もう としている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート
英語でポッ プスを歌お う	【歌唱】 ○Yesterday once more	2	○	○	○	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背 景との関わり及び言葉の特性と曲種に 応じた発声との関わり、それらの関わりによ	学習状況 の観察 ワークシ

	○Let it be ◆Review Take me home, country roads ◆□絵③ロックの歴史を変えたビートルズ				て生み出される表現上の効果について理解している。(知) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思) ・英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	ート 演奏の聴取	
アンサンブルを楽しもう① ーリズムアンサンブルー	【器楽】 □クラッキングカルテット第2番 (作曲：長谷部匡俊)	4	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
アンサンブルを楽しもう② ー器楽合奏ー	【器楽】 □The raiders march	4	○	○	○	・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上	

						の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思) ・個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
アンサンブルを楽しもう③ ートーンチャイムー	【器楽】 □Deck the hall with boughs of holly ひいらぎかざろう	4	○	○	○	・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を工夫している。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
クラシックギターの演奏を楽しもう①	【器楽】 ○Let it be (復習) ○「これはなんと素晴らしい響きだ…」によるギター・エチュード ○シューベルトの子守歌	4	○	○	○	・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

						したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思) ・奏法を身に付け高めることや、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
混声合唱を美しく響かせよう①	【歌唱】 ○学校祭の全校合唱曲	8	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思) ・他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 演奏の聴取
音楽をつくらう	【創作】 ◇音のスケッチ③音素材の特徴を生かして音楽をつくらう ◇音のスケッチ④音階から音楽をつくらう ◆楽典(音階)	4	○	○	○	・音素材、音階の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。(知) ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能や、旋律をつくったりつくった旋律に副次的な旋律や和音などをつけたりする技能を身に付け、創作で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこ	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

						ととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を工夫している。(思) ・音素材の特徴を表したいイメージとか変わらせて理解し、個性豊かに創作表現を工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
前期期末考査							

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
箏を弾こう	【器楽】 ☐ さくらさくら（復習） ☐ 笑点のテーマ	3	○	○	○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思) ・和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや、音楽文化の固有性を考えることⅡ 関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
コンサートを開こう	【器楽】 ◎クリスマスコンサート	27	○	○	○	・音楽Ⅱの1年間の学習における表現や鑑賞の知識に関する諸事項について理解している。(知) ・音楽Ⅱの1年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け、器楽で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思) ・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅱの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

						関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
コンサート を聴こう	【鑑賞】 ◎3年生の卒業コンサート	2		○	○	・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(思) ・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅱの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	ワークシート
混声合唱を 美しく響かせよう②	【歌唱】 ○卒業式の在校生合唱曲	3	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。(知) ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思) ・他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 演奏の聴取
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	外国語	2年	使用 教材	【教科書】 All Aboard! English Communication II (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションⅡ	3単位		【副教材】 ・ All Aboard! English Communication II WORKBOOK (東京書籍) ・ 夢をかなえる英単語 新ユメタン1 大学合格必須レベル (アルク)

科目の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A(十分満足できる)	B(おおむね満足できる)	C(努力を要する)
①知識・ 技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。
③主体的に 学習に 取り組む 態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。

年間授業計画 (計 105 時間)

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体性・学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	英語コミュニケーションⅡの学習について	アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、英語コミュニケーションⅡの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③授業態度等
	○今年やってみたいこと ●Pre-Lesson	3	自分のことについて話す活動	今年やってみたいことについて、英語で述べることができる。	
	○ブラーノ島 ●Lesson 1	7	関係代名詞: what	海外で行ってみたい場所について、英語で述べるができる。	
	○ホテルにチェックイン ●Let's Listen 1	3	ホテルにチェックインするときに使われる文の形・意味	ホテルにチェックインする場面における対話を聞き、対話の概要やよく使われる表現を理解し、質問に答える。	
	○病院で診察 ●Communication 1	3	症状や気分を説明する仕方	病院で診察を受ける場面においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。	
	○サムのリクエスト ●Lesson 2	7	比較表現: more, the most	世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。	
	○Feeling and Emotions ●Word Box 1	1	感覚や感情を表す単語や表現を用いた文の形・意味	感覚や感情を表す単語や表現を用いて、英文を作成する。	
	前期中間考査	1	◇考査	学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○ワイルドマンの世界 ●Lesson 3	7	it の用法	身近な行事について、英語で紹介することができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③授業態度等
	●文法のまとめ 1	3	関係代名詞/比較表現/it の用法	Lesson 1~3 で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。	
	○ハチドリのにずく ●Lesson 4	7	間接疑問文	自分の好きな物語を英語で紹介することができる。	
	○世界自然遺産 ●Let's Listen 2	3	ある地域の特徴や位置を説明する文の形・意味	日本にある世界自然遺産についての話を聞き、概要を理解して、その地域を選び、ヒントになった英語を書く。	
	○ずっと…し続けています ●Extra Target 1	1	現在完了進行形: (have+been+動詞の-ing 形)	「ずっと…し続けています」という文を考えて言う。	
	OA Day in English: Part 1 ●Word Box 2	1	平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味	登校する日の出来事について、英語で表現して発表する。	
	○歌舞伎メイクの物語 ●Lesson 5	7	to 不定詞を含む表現	日本の伝統文化について、英語で説明することができる。	
	前期期末考査	1	◇考査	学習内容の定着状況を確認する。	

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
10 / 11	○The Body and Clothes ●Word Box 3	1	服装についての対話 でよく使われる語句 や表現を用いた文の 形・意味	身体の各部分や衣服・アクセサ リなどを表す語句を用いて、 ふだん着ているものについて英 語で対話する。	①ペーパーテスト等 の結果 ②パフォーマンステ スト及び活動の観察 の結果 ③授業態度等
	○Mujina ●Reading 1	7	江戸時代を舞台にし た怪談を読み、情景 や登場人物の心情を 読み取る。	情景や登場人物の心情を想像し ながら、怪談を題材にした物語 を暗唱する。	
	●文法のまとめ 2	3	間接疑問文/to 不定 詞を含む表現/動詞 の形と「時」の関係	Lesson 4～5 で学習した文法に 関する知識・技能の確実な習得 を促す。	
	○伝統野菜を未来につなぐ ●Lesson 6	8	動詞の目的語になる if 節	地元で有名な場所やものについ て、英語で説明することができる。	
	○Various Jobs ●Word Box 4	1	仕事や職業を表すの によく使われる語句 や表現を用いた文の 形・意味	仕事や職業を表すのによく使わ れる語句や表現を用いて、将来 つきたい職業とその理由を述べ る。	
	後期中間考査	1	◇考査	学習内容の定着状況を確認す る。	
12 / 1 / 2	○アートで世界をつなぐ ●Lesson 7	8	関係副詞: where, when	世界の人々と交流する方法につ いて、英語で述べることができ る。	①ペーパーテスト等 の結果 ②パフォーマンステ スト及び活動の観察 の結果 ③授業態度等
	○入国審査 ●Communication 2	3	旅行の目的や滞在日 数などを申告する仕 方	海外旅行先の空港での入国審査 においてよく使われる表現を用 いて、英語で対話をする。	
	○ロンドンの地下鉄 ●Getting the Necessary Information	3	地下鉄の路線図を見 ながら説明する仕方	ロンドンの地下鉄の路線図を見 て、必要な情報を的確に読み取 り、目的地への行き方を案内す る。	
	○自然のデザインに学ぶ ●Lesson 8	8	知覚動詞	自然界のデザインをヒントにし た製品について、英語で発表で きる。	
	学年末考査	1	◇考査	学習内容の定着状況を確認す る。	
3	●文法のまとめ 3	3	動詞の目的語になる if 節/関係副詞/知 覚動詞	Lesson 6～8 で学習した文法に 関する知識・技能の確実な習得 を促す。	①ペーパーテスト等 の結果 ②パフォーマンステ スト及び活動の観察 の結果 ③授業態度等
	○1年間のまとめ	2	学習した表現や文法 の復習	1年間の学習内容を総合的に振 り返り、知識・技能の定着をよ り確実なものにする。	

教科 科目 単位数	外国語 論理・表現Ⅰ 2	受信校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第二学年 選択・一斉
教科書 副教材	「MY WAY Logic and ExpressionⅠ」(三省堂) 「MY WAY Logic and ExpressionⅠ ワークブック」(三省堂)				

1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4サイズ)を必ず用意してください。
- (3) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。ペアやグループの活動では、自分の意見を積極的に述べるなど、恥ずかしがることなくコミュニケーションを図る努力をしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連(○=特に関連の深いもの)

	評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア	学習活動の観察・振り返り	○	○	●	言語活動への取り組み・振り返りシート等
イ	ワークシート・テスト等	●	●	○	課題提出、小テスト、定期テスト等
ウ	パフォーマンステスト等	●	●	○	パフォーマンステスト
総括時の比率		1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。

(5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。
 <学習の支援について>
 授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	【学習領域】 主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・論理・表現Ⅰの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理・表現Ⅰの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)
	○自己紹介で差をつけよう ●Lesson 1	6	【やり取り/発表】 ・現在形	・初対面のあいさつをすることができる。 ・自己紹介のスピーチをすることができる。	
	○わくわくドキドキ学校生活 ●Lesson 2	6	【やり取り/書く】 ・過去形 (be 動詞/一般動詞) ・現在進行形/過去進行形 □対面授業① ◇パフォーマンステスト	・好きだった教科について会話をすることができる。 ・現在進行形、過去進行形を使って表現することができる。	
	○アートの世界へ旅立とう ●Lesson 3	6	【やり取り/発表】 ・未来表現 ・基本時制(現在形/過去形/未来表現)のまとめ	・週末の予定について会話をすることができる。 ・好きな絵について発表することができる。	
	前期中間考査(実施の場合)	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○英語でグルメしてみよう ●Lesson 4	7	【やり取り/書く】 ・現在完了形①(完了/経験) ・現在完了形②(継続)/現在完了進行形	・料理をするときの会話をすることができる。 ・日本の食文化を紹介するレポートを書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)
	○伝えよう! 待ちの魅力 ●Lesson 5	6	【やり取り/発表】 ・助動詞 (can/may/must/have to/should) ・受動態	・道案内の会話をすることができる。 ・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表することができる。	
	前期期末考査(実施の場合)	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○驚きいっぱい世界旅行 ●Lesson 6	6	【やり取り/書く】 ・不定詞①(名詞的用法/形容詞的用法) ・不定詞②(副詞的用法/原形不定詞)	・買い物の会話をすることができる。 ・旅行先から友達へメールやチャットをすることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)
	○はらはらドキドキスポーツ観戦 ●Lesson 7	6	【やり取り・発表】 ・動名詞 ・分詞による後置修飾/分詞構文	・スポーツの試合について会話をすることができる。 ・スポーツ選手の特徴を説明することができる。	

令和5年度 遠隔授業配信シラバス(2年)

	○科学技術で世界は変わる!? ●Lesson 8	6	[やり取り・書く] ・比較①(比較級) ・比較②(最上級/同等比較) □対面授業② ◇パフォーマンステスト	・紙の本と電子書籍のよさについて会話をすることができる。 ・科学技術製品を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
	後期中間考査(実施の場合)	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
12 / 1 / 2	○元気が一番! ●Lesson 9	7	[やり取り・発表] ・関係代名詞①(who/which/that[主格・目的格]) ・関係代名詞②(目的格の省略/whose/what)	・病院での会話をすることができる。 ・健康について発表をすることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)
	○世界を変えるのは私たち ●Lesson 10	7	[やり取り・書く] ・関係副詞 ・仮定法	・SDGsについて会話をすることができる。 ・SDGsについての発表原稿を書くことができる。	
	学年末考査(実施の場合)	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
3	○友だちに感謝のメッセージを送ろう。	2	[書く]	・1年間を振り返って友だちに感謝のメッセージを伝えることができる。	

令和5年度 教科年間計画

教科	家庭	2年	使用	【教科書】家庭基礎 自立・共生・創造
科目	家庭基礎	2単位	教材	

科目の目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善することができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
生涯を見通す	人生を展望する	1	○	○	○	ライフステージの特徴を理解し、課題を考える。	ワークシート
	目標を持って生きる	2		○	○	生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	
人生をつくる	人生をつくる	1	○		○	生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	ワークシート
	家族・家庭を見つめる	2	○		○	家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。	
	これからの家庭生活と社会	1		○	○	仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考える。	
衣生活をつくる	被服の役割を考える	1	○	○	○	私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な働きを理解し、まとめる。	ワークシート
	被服を入手する	1	○			健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。	実技テスト
	被服を管理する	1	○	○	○	手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。	作品 振り返りシート
	衣生活の文化と知恵	1	○		○	日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知る。	
	前期中間考査	1					レポート
衣生活をつくる	衣服制作	8	○		○	制作に必要な用具の使い方を理解し、生活に必要な技術を身につける。	
	これからの衣生活	1		○	○	資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。	
子どもと共に育つ	命を育む	2	○			性と生殖に関する健康について理解する。	ワークシート
	子どもの育つ力を知る	2	○			子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。	レポート
	子どもと関わる	1		○	○	子どもが健康・快適・安全に育つ環境とはどのようなものか考える。	
	これからの保育環境	1		○	○	子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	
前期期末考査		1					

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
超高齢社会を共に生きるために	超高齢・大衆長寿社会の到来	1	○			超高齢社会の背景を理解する。	ワークシート
	高齢者の心身の特徴	2		○	○	高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。	
	これからの超高齢社会	1	○	○	○	加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。	
共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉	1		○	○	高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。	ワークシート
	社会保障の考え方	1	○	○	○	家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	
	共に生きる	1	○			国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	
食生活をつくる	食生活の課題について考える	2	○	○	○	食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	ワークシート 調理実習での取り組み 実技テスト レポート
	食事の栄養・食品	2	○		○	栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	
	食生活の選択と安全	2	○		○	食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	
	生涯の健康を見通した食事計画	2	○	○	○	各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを考える。	
	調理の基礎	8	○	○	○	食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につける。	
	食生活の文化と知恵	1		○		日本の食文化の特徴を理解し、継承していくためにはどうしたら良いか考える。	
	これからの食生活	1		○	○	安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。	
後期中間考査		1					

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能	2		○		住まいの役割や基本的な機能について考える。	レポート ワークシート
	安全で快適な住生活の計画	1	○			自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。	
	住生活の文化と知恵	1	○			気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。	
	これからの住生活	1		○	○	持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	
経済生活を営む	情報の収集・比較と意志決定	1	○			現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。	ワークシート
	購入・支払いのルールと方法	2		○	○	具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。	
	消費者の権利と責任	1	○			実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。	
	生涯の経済生活を見通す	1	○			経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	
	これからの経済生活	1		○	○	どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。	
持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	1	○	○	○	持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	ワークシート
これからの生活を創造する	生活をデザインする	1	○	○	○	人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。	ワークシート
学年末考査		1					
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

教科	商業	2年	使用 教材	【教科書】 高校簿記 (実教出版)
科目	簿記	2単位		【副教材】 イメージで攻略 わかる！受かる！！日商簿記3級 テキスト&問題集 2023年度版 (マイナビ出版) 究極の仕訳集 日商簿記3級 第6版 (TAC 出版) 商業学習準備ノート (英光社)

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、その知識を身に付けている。 収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、その知識・技術を身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についてきちんと理解している。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について具体的な数値例に基づき体系的に理解している。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についておおむね理解している。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算についておおむね理解している。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について理解していない。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について理解していない。
②思考力 判断力 表現力	資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。 収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断してきちんと説明できる。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、自分の思考したことを数値を使って説明できる。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断しておおむね説明できる。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力をおおむね身に付けている。	資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断したり、説明できない。 資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断したり、それを表現したりする仕方を身に付けていない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、自ら意欲的に取り組み理解しようとしている。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、多くの演習問題にあたるなど主体的に取り組んでいる。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとしている。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、理解しようとしている。	資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとする取り組み態度がみられない。 貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、理解しようとする取り組み態度が見られない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価 の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
簿記の基礎	企業の簿記 簿記の要素 取引と勘定 仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳 試算表 決算	15	○	○	○	・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。(知) ・簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。(思) ・簿記上の取引の意味、勘定記入法、仕訳の意味、仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、試算表の作成法を理解しているか。(知) ・勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。(思) ・仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、試算表の作成を考え、適切に作成できたか。(思) ・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅰ	現金・預金の記帳 商品売買の記帳 掛け取引の記帳 固定資産の記帳 決算(その1)	10	○	○	○	・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思) ・決算の記録・計算・整理に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅱ	手形取引の記帳 その他の債権・債務の記帳 販売費及び一般管理費の記帳 資本金の記帳 決算(その2)	10	○	○	○	・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思) ・決算の意味や決算整理の必要性を理解したか。(知) ・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思) ・貸し倒れの見積もり、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の繰り延べと見越しをとまなう決算の手続きを理解したか。(知) ・進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
帳簿・伝票と記帳の効率化	帳簿 仕訳伝票と3伝票制 会計ソフトウェア	5	○	○	○	・これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解をしているか。(知) ・入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(知) ・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解したか。(知) ・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。(思) ・仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と伝票の起票、集計・転記を理解しているか。 ・会計ソフトウェアをどのように活用するかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(思) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
取引の記帳と決算Ⅲ	有価証券とその他の手形取引の記帳 決算(その3)	10	○	○	○	・有価証券の取引とその他の手形取引に関する基本的な内容とその記帳法および損益計算書と貸借対照表の作成法を理解したか。 ・有価証券とその他の手形取引に関する記帳および損益計算書と貸借対照表の作成法に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト

本支店の会計	支店の取引 本支店の財務諸表の合併	10	○	○	○	・本支店間の取引、支店相互間の取引、合併貸借対照表と合併損益計算書などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・本支店間の取引、支店相互間の取引について、その記録・計算・整理(合併貸借対照表と合併損益計算書)に関する問題の解決を目指して、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。(愚) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
株式会社の記帳	設立と開業の記帳 剰余金の処分に関する記帳 株式会社の税金の記帳	10	○	○	○	・株式会社の記帳法について、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知) ・株式会社の記帳法について、その記帳について自らの思考を深め、適切に判断しているか。(愚) ・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト
時数合計		70					

令和5年度 教科年間計画

総合的な探究の時間	2年	使用 教材	【教科書】なし
	1単位		【副教材】なし

科目の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

【評価の観点】

	評価の観点	
	進路探究	地域探究（おうむ学）
知識・技能	インターンシップや外部講師の講演活用を通して、自己や進路についての課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけることができる。	雄武町 PR 活動を通じて、地域や社会の課題の発見や解決に必要な知識・技能を身につけることができる。
思考力 判断力 表現力	自分の進路や興味・関心と結びつけながら、自己の課題を明らかにすることができる。自らの主張や意見が伝わるように、論理的な章立てで表現することができる。	地域の課題やその解決法についての必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集することができる。 相手や目的、意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に活かすことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	自ら課題に向き合い、自他の良さを認めながら、主体的・協働的に課題を解決することができる。	自ら課題に向き合い、自他の良さを認めながら、主体的・協働的に課題を解決することができる。

【計画】

単元 名	学習内容	時数	評価の観点			学習のねらい	評価方法
			知	思	主		
進路探究	① 進路活動に関するガイダンス	29	○			- 自己に必要な情報を収集し、進路意識を高める。 - インターンシップを通じて、働くことや職業を知り、勤労観・職業観を養う。 - 各種ガイダンスを通して、進路に向けての情報収集を行い、進路意識を高める。	各種プリントの内容
	② 進路相談会		○				
	③ 各種進路ガイダンス		○				
	④ インターンシップ			○	○		
	⑤ CPSV 講話			○	○		
	⑥ 先輩と語る会		○		○		
地域探究 おうむ学	① 町民や観光客へのアンケートを行い、その結果を分析・整理する	6		○	○	- 見学旅行における PR 活動の準備を通して、雄武町の魅力を探究し、その情報の収集や整理の方法を身に付ける。 - 依頼文の作成や電話の掛け方などの一般的なマナーを身に付ける。 - 発表をする場を設けて、プレゼン能力を養う。	- 総合探究ファイル - 発表 - 振り返りシート
	② 企業への依頼文作成、電話のかけ方を学ぶ		○	○			
	③ 見学旅行での PR 活動を実施			○	○		
	④ 町民へ成果を報告する			○	○		
	合計	35					